

あいかも屋通信

No 161号 産地の絆号

去る5月25日、第36回グリーンツーリズム田植交流会が200人の参加で開催されました。
米価が高騰する中、生産者と消費者のお互いの顔の見える関係絆を深めつつ、食を守ること、農を未来につなげる大切さを体験しました。



おいしくな一れ、ぼくの米



園庭に田んぼがある田森保育所のたうえ指導に行ってきました。
また、5月末サツマイモ植えも指導、自分たちの食べているものがどこから来たのか知ってもらう第一歩の体験です



草取り大会開催！

今年も広島市内の小学生が農園見学&農業体験に来園約90人で田植交流会で植えた田んぼにて草取りをしました。

まず、イネとヒエの違いを説明、そして泥の感触に歓声を上げながらいざ入田。
アイガモロボを追っかけながら無事に除草してくれました。
これで豊作間違いなしです、みんな ありがとう！



次世代稲作研究

5月中旬、この地域や環境に合う米作りの資材や技術を研究、試験して庄原地域のブランド米のアップデートを図る、次世代稲作試験展示園の田植えをしました。

4年前からマイクロプラスチック削減の資材の試験をし、検討していますが、資材の価格高騰で環境よりも値段に偏向する産地が多くいる情勢に危機感を感じつつ、私たちは環境保全に取り組む産地として試験を続けていきます。

